令和５年度　第１回地域医療支援病院に関する委員会

開催日時	令和５年５月 26 日(金)　13 時 30 分から 14 時 15 分まで
開催場所	大垣市民病院２病棟１階　会議室
議　　題	委員長及び副委員長の選出について、定例報告及び紹介率向上への取組みについて
出席委員 （敬称略）	委員長　大垣市医師会長　沼口　諭 副委員長　大垣歯科医師会会長　馬淵　直樹 委員　大垣市医師会副会長　竹中　清之 委員　大垣市医師会理事　森　俊治 委員　安八郡医師会副会長　町田　崇史 委員　大垣薬剤師会長　松本　正平 委員　岐阜協立大学看護学部教授　神谷真有美 委員　西濃保健所長　河野　芳功
公開区分	公開
傍 聴 人	なし
概　　要	**1．委員長及び副委員長の選出について** 「地域医療支援病院に関する委員会設置要綱」の第４条第１項の規定に基づき、委員の互選によって、委員長には大垣市医師会長の沼口　諭氏、副委員長には大垣歯科医師会長の馬淵　直樹氏が選出された。 **2．報告事項** **(1)定例報告事項** **1)よろず相談・地域連携課から、①紹介率・逆紹介率、②地域連携を介した診察・検査件数、③開放型病床利用状況、④救急統計、⑤地域の医療従事者に対する研修・講演会の開催状況、⑥地域連携クリニカルパス登録状況、⑦OMNet 利用状況、⑧地域の医療機関との連携相談実績等について報告した。** ①紹介率……4 年 4 月～5 年 3 月:62.5% 5 年 4 月:67.4% 逆紹介率…4 年 4 月～5 年 3 月:147.0% 5 年 4 月:155.2% ②地域連携予約診察件数…4 年 4 月～5 年 3 月計:11,156 件 5 年 4 月計:863 件 地域連携予約検査件数…4 年 4 月～5 年 3 月計:866 件 5 年 4 月計:63 件 ③開放型病床登録医数…5 年 4 月末:160 人(医科 131 人、歯科 29 人) 開放型病床利用率…4 年 4 月～5 年 3 月:10.8%　5 年 4 月:8.7% 緊急緩和ケア病床利用率…4 年 4 月～5 年 3 月:10.1%　5 年 4 月:0%

	④救急受診患者数…4 年 4 月～5 年 3 月計:42,468 人(月平均 3,539 人) 5 年 4 月 2,856 件 救急車利用件数…4 年 4 月～5 年 3 月計:11,072 件(月平均 923 件) 5 年 4 月　770 件 救急入院患者数…4 年 4 月～5 年 3 月計:3,418 件(月平均 285 件) 5 年 4 月　277 件 ⑤地域医療従事者に対する研修…4 年 4 月～5 年 3 月開催数:29 回、院外受講者 174 人 5 年 4 月開催数:開催実績なし ＊病診連携カンファレンス、西濃がん早期診断研修会、西濃地域緩和ケア研修会、薬薬連携研修会、糖尿病メディカルWEBセミナー、診療報酬に関する委員会等 市民対象講演会等…4 年 4 月～5 年 3 月開催数:6 回、院外受講者 94 人 5 年 4 月開催数:開催実績なし ⑥地域連携クリニカルパス登録状況…4 年 4 月～5 年 3 月登録総数 848 件 5 年 4 月登録総数 62 件 5 年 4 月末時点でのパス開始からの登録総数:12,118 件 ⑦OMNet 利用状況…5 年 4 月末時点の利用登録医療機関:119 機関 診療情報閲覧に同意した患者総数:38,797 人 ⑧地域の医療機関との連携相談実績…4 年 4 月～5 年 3 月計:12,023 件 5 年 4 月 926 件 医療相談実績…4 年 4 月～5 年 3 月計:1,652 件　5 年 4 月 160 件 令和 4 年度諸記録の管理・閲覧　0 件 **2) 上記の報告について次のとおり質疑応答等が行われた。** （委員） 緊急緩和ケア病床の一覧表はないのですか。 （事務局） 次回から入れさせていただきます。 （委員） 消化器内科の診察件数が落ちているが、今回制限が解除されて安心している。 （事務局） ご迷惑おかけしてすいませんでした。 （委員） 逆紹介率がすばらしくいい割に紹介率が意外と上がっていないというのが謎だったが、今日の話ですごく分かった。前にいた病院だと逆紹介した時に定期的に基幹病院に来る時に紹介状を持って来てくださいという事を言っていた。大垣市民病院にはそのような習慣がない。

	（事務局） 　例えば、地域連携クリニカルパスで、半年後に来る時に、紹介状を必要としないというやり方でやっている科が多いので、逆紹介率は上がるけれども、紹介率はそれほど数が増えないというのはそういう事と思われる。 （委員） 　パスの喘息はちょっと動いているが、COPD は全く動いていない。動かない理由は何か。使い勝手が悪いか、何か問題があるかと思う。 （事務局） 　COPD はある一定の先生方のある程度専門の人の中で始めてから広げようとやり始めた。コロナウイルス対応で忙しかったが、状況的には改善していると思うので声かけし、問題があるのであれば改善していかなければならない。 **(2)紹介率向上への取り組みについて** **1)よろず相談・地域連携課から、紹介率向上への取り組み状況について次のとおり報告した。** 　①令和 4 年度の患者さんからの電話予約実績は 789 件。地域別では大垣市の先生が約 9 割を占めている。診療科別では歯科口腔外科が約 4 割を占めており小児科、皮膚科の順となっている。5 年度 4 月の患者さんからの電話予約実績は 59 件。 　②かかりつけ医紹介センターの相談件数は、令和 2 年度から令和 4 年度までの 3 年間で利用合計は 157 件。診療科別としては、循環器内科が 40.8%、呼吸器内科が 10.8%で、この 2 科で 5 割以上を占めた。5 年度 4 月の相談件数実績は 4 件。 **2)委員から、上記の報告について意見・質問はなし。** **3. その他** （委員） 　現在、院外処方に対する委員会についてはどのような体制で行っているのか。 （事務局） 　去年と同じように院外処方に関するプロジェクトチームを継続して、院長の方からメンバーを作っていただいており、体制としては、メンバーとしてのトップは代わったが、引き続き行っている。 （委員） 　以前、「大腸がん」は外科に直接かかるように言われていたが、一度消化器内科に診てもらった方がよいのか。 （事務局） 　先生方のご判断で、例えば内視鏡治療になるかもしれないというような症例であ

	れば消化器内科に紹介していただきたいが、これはどうみてもオペだろうという症例であれば外科の方に紹介していただくのがよいです。 （委員） 　再診の患者さんの予約は最大何か月先までできるのか。 （事務局） 　各先生、各診療科でばらつきはあるが、システム上は１年後までできる。 　もし１年後に来てほしいという事であれば、１年後の予約がとれるように便宜をはかるべきというご意見をつけて周知する。 （委員） 　発熱外来はどうなりましたか。 （事務局） 　無くなりました。 　普通に外来の紹介であれば、お熱があっても普通に外来に紹介していただければいいです。例えば腎盂腎炎で発熱していますという場合だったら普通に泌尿器科に紹介でいいですし、肺炎で熱が出ていると思われる場合は呼吸器内科に紹介していただければいいです。そこで判断して必要があればこちらで救急へお回しします。 （委員） 　紹介する時はFAXで流すが、なかなか行かない場合がある。FAXの回線が増える事はないですか。 （事務局） 　そうですね。 　以前からFAXの時間がかかるという事は言われている。FAXは機能の高いものには変えています。 （委員） 　電子申請はどの程度の利用がありますか。 （事務局） 　月に１回程度です。
次回開催	令和５年度第２回委員会は８月２日に開催予定とする。